

“龍城ヶ丘ゾーン整備案”

払拭されない防災機能低下の不安

市は市民合意を高める努力を！

平塚市は龍城ヶ丘プール跡地等の整備・管理運営を民間に委託し行うため事業者を公募、予定事業者が決定したことを受け、3月6日発行の広報ひらつかやHPに計画案を掲載しました。

しかし、この間市民が危惧し署名活動等で要望している東側樹林地を伐採することによる防災機能の低下への対策は示されていません。計画案によれば東側の樹林を70%カットし、新たに植樹をすることで西側樹林を含めた全体の緑被率は従来とほぼ同様の50%弱を維持するとしています。50%には芝地が含まれており、芝生で高潮や飛砂を防ぐことはできません。市長からは“プランを示すことができたので、不安は解消されると考えている”旨の発言があったとのこと

市民の声を届けて

安心・安全な学校給食の実現を！

平塚市学校給食基本構想・基本計画づくり等を業者に委託——8月にはパブコメ実施予定——

平塚市では小中学校学校合せ36校分（自校式7小学校除く）の学校給食づくりが可能な共同調理場の建設を計画しています。

子どもたちを取巻く社会状況が変化し、成長期にある中学生への給食提供の必要性も高まっています。就学援助の助成対象である給食が中学校ではなかったことが、平塚市の課題の一つでした。

県内では選択制の仕出し弁当を給食と位置づけ実施する自治体が多くありますが、平塚市は大規模共同調理場を建設し民間に管理運営を委託する方式で中学校給食を実施する方向です。3月4日には、今後の給食運営や施設整備に関する計画づくり、PFIによる整備手法などに関する調査を委託するための契約を大手建設コンサルタント会社と結びました。

給食についての児童・生徒、保護者の要望は様々です。多額の税金を使い実施する事業、実施すればそれで良い、ということではなく、より多くの市民が望む形にしていくことが必要です。

ですが、市民の思いを軽んじた発言と思います。

また広報に掲載された複数のイメージ図からは、その是非が問われている120台分の駐車場が極力隠されているように見えます。3月議会における委員会答弁では、芝生広場やサンセットテラスなど、市として知らせたい部分を拡大して出したとの説明でしたが、市民から賛否両論のある計画だからこそ、財政負担も含めたごまかしのない情報提供を行い、市民合意を高める努力を市はするべきです。

コロナウイルス蔓延防止のため3月に予定されていた説明会は延期となっています。市民から意見を聞き、その意見を踏まえ公園整備を進めるとの約束を果たすため、そして市長のいう“より良い公園計画”のため、市は誠意をもって市民との場をつくり、説明し協議・調整を行っていくべきです。



計画イメージ図：広報ひらつかより

予算要望意見交換会

—まちづくり

ユニット平塚—

市内で活動する生活クラブ運動グループ9団体



2月7日教育会館で構成するユニット平塚では、毎年各団体から出された予算要望について市との意見交換会を行っています。食の安全、在宅福祉、環境、防災・・・など日常活動から出される課題は多岐にわたっています。

今年は、化学物質による被害に長い間苦しんでいる方も参加し、毎年海岸樹林に行われている薬剤散布の周知策について市の対応を求めました。

日常生活でぶつかる困りごとの解決策を求め、今後も連携して働きかけを行っていきます。

神奈川ネットワーク運動とは

1. 議員は2期8年で交代します。
2. 議員報酬は市民の活動資金として活用します。
3. 選挙はすべて市民のカンパとボランティアで。

